

記入例（相続による取得）

農地法第3条の3の規定による届出書

令和 7 年 6 月 3 日

嬉野市農業委員会会長 様

委員会への提出日

《 届出人 》

住 所 ○○県○○市○○町○○ ○○番地

氏 名 嬉野 花子 ㊞

電話番号 □□□-□□□□ - □□□□

下記農地（採草放牧地）について、相続 により 農地 を取得したので、農地法第3条の3の規定により届け出ます。

相続人 記

1. 権利を取得した者の氏名等（国籍等は、所有権を取得した場合のみ記載してください）

氏 名	続 柄	住 所	国籍等	在留資格又は特別永住者
嬉野 花子	長女	○○県○○市○○町○○ ○○番地	日本	

2. 前所有者の氏名等 被相続人

氏 名	住 所
嬉野 太郎	○○県○○市○○町○○ ○○番地

3. 届出に係る土地の所在等

土地の所在			地 目		面 積（㎡）	備 考
大 字	小 字	地 番	登記簿	現況		
別 紙						

登記済権利書等の権利関係が分かる書類の写しを添付してください（土地情報・被相続人・相続人の氏名が記載されているもの）

4. 権利を取得した日 令和 6 年 1 2 月 1 日 被相続人死亡日

5. 権利を取得した事由 相続

6. 取得した権利の種類及び内容 所有権

第三者への所有権の移転又は賃借権の設定等の農業委員会によるあっせん等

7. 農業委員会によるあっせん等の希望の有無 希望する ・ 希望しない

8. 添付書類 登記事項証明書等の、権利の異動が分かる書類の写し（前所有者名と新たに権利を取得した方の氏名が記載された書類）

(記載要領)

1. 本文には権利を取得した事由及び権利の種類を記載してください。
2. 届出者の氏名（法人にあってはその代表者の氏名）の記載を自署する場合においては、押印を省略することができます。
3. 法人である場合は、住所は主たる事務所の所在地を、氏名は法人の名称及び代表者の氏名をそれぞれ記載してください。
4. 国籍等は、住民基本台帳法（昭和 42 年法律第 81 号）第 30 条の 45 に規定する国籍等（日本国籍の場合は、「日本」）を記載するとともに、中長期在留者にあっては在留資格、特別永住者にあってはその旨を併せて記載してください。法人にあっては、その設立に当たって準拠した法令を制定した国（内国法人の場合は、「日本」）を記載してください。
5. 権利を取得した者が連名で届出をする場合は、届出者の住所及び氏名をそれぞれ記載してください。また、記の 1 の「権利を取得した者の氏名等」は必要に応じ、行を追加をしてください。
6. 記の 3 の「届出に係る土地の所在等」には、権利を取得した農地（地目が田・畑である土地）を記載してください。複数あり記載しきれない場合は、いずれかの欄に「別紙のとおり」と記載し、当該地の登記済権利書等の権利関係が分かる書類の写しを添付してください。また、備考欄には登記簿上の所有名義人と現在の所有者が異なるときに登記簿上の所有者を記載してください。
7. 記の 5 の「権利を取得した事由」には、相続（遺産分割及び包括遺贈及び相続人に対する特定遺贈を含む）、法人の合併・分割、時効等の権利を取得した事由の別を記載してください。
8. 記の 6 の「取得した権利の種類及び内容」には、取得した権利が所有権の場合は、現在の耕作の状況、使用収益権の設定（見込み）の有無等を記載し、取得した権利が所有権以外の場合は、現在の耕作の状況、賃借料、契約期間等を記載してください。

また、共有物として農地又は採草放牧地の権利を取得した場合であって、届出者以外にも共有者がいるときは、その人数を記載してください。なお、人数がわからない場合は、その旨を記載してください。
9. 記の 7 の「農業委員会によるあっせん等の希望の有無」には、権利を取得した農地又は採草放牧地について、第三者への所有権の移転又は賃借権の設定等の農業委員会によるあっせん等を希望するかどうかを記載してください。あっせんを希望する場合には電話番号又はメールアドレス等の連絡先を記載してください。